

おうちの
みんなで
読んでね

お正月を迎えて

生まれ難い人間の境界に生まれさせていただき、遇いがたき仏法に遇うことができ、今年も新しい年を迎えさせていただきました。本当におめでたいことは何なのか、しばし考えてみましょう。

謹賀新年。新しい年を迎えて、今年是一年は良い年でありますようにと、皆心持ちをあらため希望をもたれると思います。

ところで私たちは新年を迎えると、「おめでとう」と挨拶を交わします。しかし「何がめでたいのだろうか」と尋ねられたとき、あなたは「苦悩の尽きることのないこの人生にあっても、これができるから本当にめでたいことなのだ」という「これ」をお持ちになりますか？

本来、「めでたい」という言葉は、物事は望ましい状態にあるときに使います。ですから喜んだり祝うに値するときにしか使われません。苦しみや悲しみを抱いている人などには、この言葉は用いないのが常識です。

しかし親鸞聖人は、お弟子の明法房という方が、往生の本意を遂げられたという知らせを受けられたとき、そのご返信に「めでたき事にて候へ」と述べておられるのです。

またひらつかの入道という者が往生したと聞かれた時も、「めでたき申しつくすべくも候はず」と書いておられます。これは一般常識と異なって、往生こそ「めでたきこと」と言われたのでありました。

さらに聖人は、ご消息の中で「南無阿弥陀佛にあひまいらせたまふこそ、ありがたくめでたく候ふご果報にて候ふなれ」と述べられて、何よりも南無阿弥陀佛に遇うことこそが「めでたいこと」とされたのです。

したがってお念仏を申すことについて

ふかく信じて となふるがめでたきことにて 候ふなり

めでたい人生とは お念仏を申し、浄土に往生する身になることである

と、明らかにされたのでありました。(孝雄 引用「仏教家庭学校」)



陸前高田市・普門寺境内の
五百羅漢像。4年がかりで市
民らの手で製作。手前が林作。

まことというは
信心をあらわす
御のりなり

◆浄土真宗は聴聞にきわまる、と言われます。無量寿経下巻には、阿弥陀様の本願が成就されたという第十八願成就文があります。聖人はその文の「聞其名号」について「本願の名号をきくとのたまへるなり」と述べ、「聞」についてふた通りご教示下さいます。

一つめは「まことといふは、本願をききて疑ふ心なきを聞といふなり」として、「聞」を疑いのない心、信によって表します。一つめが標題の文で、「聞く」という語によって「信心」があらわされます。つまり、「聞」と「信」が双方の構造を持つて互いに規定し合っているわけで、このため「聞即信」(聞くことが即ち信心である)の法儀が成立するのです。

「聞」と「信」の間に何か介在しては「即」とは言えません。聞いて、分かって、信になる」とか「聞いて、考えて、信を得る」とか、間に自分の仕事が入ると「聞即信」の聞き方ではなくなります。分かるとか考えるという、私の心の働きから離れた聞き方ではないのです。私が考えて理解して、初めて往生するのではないのです。私の仕事ではすでに手遅れの、阿弥陀さま先手の救いの法を聞くのです。

「信心」という私の心で起こる現象でありながら、私の仕事が関われば迷いのもとが混じることになり、往生の仏因とはなりません。阿弥陀さまが喚び声の仏さまとなられた訳は(十八願成就)、私の心に起こる信心に私に心の働きを介せず聞くままがそのまま「信」となる、他力回向の救いの構造を完成されたからです。(引用「心に響く言葉」)

教えて、
お坊さん
⑱

根性悪い人も、信心のない人も救われるんですかね？

人を見てると、そのような思いを持ってしまふことがままある。しかし周りからいくら愛想つかされても、その人を決して捨てられないと働くのが阿弥陀様。その根拠が、仏となるための修行時代に誓われた十八番目の願いである。

まず「根性悪い」について。ひがむ、妬む、ぐちる、恩に着せる、ケチ、不平不満、悪口陰口、嫌味、傲慢、偏屈、自己中心的など並べ立てれば、大抵自分にも思い当たる。人ごとではない。人とそういう関係が今は発現していないとしても、誰にでもその芽はある。

次に「信心」。真宗的には阿弥陀様の働きが心に芽生える、恵まれるということだが、一般的には神仏への信仰心を指す。普段から神仏に手を合わせたり、行事に参加したりもなく、初詣やお墓詣りは風物詩となり、生死の厳しさもさほど考えず、人生の拠り所となる教えを特に求めぬ人は、若者どころか現代の年配者にも少なくない。

では、自らそれらを改めて行ける倫理的な人にだけ、(あの世での)「救い」が用意されているのか？ 私たちの感覚では、悪さすればバチが当たる、地獄へ落ちるのが受け入れやすいが、もしそうなのは阿弥陀仏の他力が完成されない。父母を殺め仏法をそしる者でさえ見捨てないと誓う第十八願が成就している。どこまでも己の性分通りにしか生きられぬこの自分であればこそ、仏へと作り変えられる世界の確かさが救いとなる。

初めまして、安岡一静・釋 一静（いちじょう）です。

◆昨年の5月に友人を介して林ご住職とご縁をいただき、浄土真宗本願寺派の教えをお取り次ぎいただきました。10月に京都の西山別院にて10泊11日の得度習礼に参加させていただき、得度させていただきました。

私は富山県出身で、実家は浄土真宗本願寺派の門徒、お寺ではない在家出身の僧侶です。祖父は熱心な念仏者で、祖父も曾祖父も長年門徒総代を務めましたが、私は恥ずかしながら菩提寺にお参りに行ったこともなければ家の仏壇に手を合わせたことすらございませんでした。

地元の高校を卒業後、大学進学で東京に出て、卒業後も東京で働き始め、しばらく実家とは縁が遠くなっていた時期もありました。



自分が何で生まれて、どう生きていったらいいのか？何を目標としたらいいのか？本当の幸せとは何なのか？それまであまりにも何も考えず、流されるがまま虚しさだけが積もっていた自分の人生を振り返るキッカケがあり、25歳頃から自分の生きる道を求め始め、30歳の時にご縁をいただいた師に教えを請うようになり、それから13年師事して参りました。

その13年間、学びのために国内を転々としたり、33歳からはイギリスに渡って自然農園の開拓やレストランの建設、ギリシャに自然塩を探しに行ったり、39歳からはスペインに渡ってオリーブの研究と商品開発に携わりました。42歳で日本に戻り、生後2ヶ月の赤ちゃんの里親をさせていただき福もいただきました。

一昨年9月にその師が帰天されたのですが、浄土真宗で出家して人間の生き方を伝える尼になりなさい、と最後のメッセージをいただいていた。そして師の遺言通り、類まれなタイミングで林ご住職と出会わせていただきました。

浄土真宗の親鸞聖人のみ教えを学ばせていただくにつれ、私の人生の指針となってくださった師も出会って間もない私を温かく迎え入れ、林ご住職も阿弥陀如来のお手次として私を導いてくださっていること、さらに今は仏となられた師も祖父も曾祖父も、私が真っ直ぐお浄土に向かって歩いていけるように回向してくださっていることが理解でき、大変有り難く、自然に手を合わせられるようになりました。

世界を旅した後に、今になってやっと私の原点である実家と私のご先祖様方に感謝できるようになれたことは愚かな私の救いのひとつです。

今後はいち早く浄土真宗本願寺派の教師となれるよう準備して、林ご住職に教えを請いながら一步一步、皆さまに阿弥陀如来の有難いご本願をしっかりと取り次ぎできる僧侶となれるように精進して参りたいと思っています。

まだ僧侶として歩き始めの頼りない私ではありますが、精一杯頑張りますので今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

実践!

肩の荷がおりの気功

⑩～足腰をなでる

腰の裏側をゆっくりなでます。続けて腰から臀部、脚の裏側をざ～となで下ろし、前側をす～となで上げます。体の力を抜いて楽に沈んで、膝をふっとゆるめて楽に起き上がります。動きながら首や背中、腰全体がほぐれるように5-6回。足腰が充実して動きやすくなり、心のどんよりしたのもスッキリ軽く。by NPO 法人気功協会



老いを
きらい
病を
おそれ
死を
かくせば
生も
かくれる
(京都佛光寺
「八行法語」)

朝ドラ「カーネーション」。年老いて倒れた主人公が、病室で朝意識を取り戻す。「あの時からおかしなって、何もかも輝いて見えるんや」と呟き、娘たちや仕事仲間を思い出しては一人ずつ礼を言う。認知力低下で施設暮らし。介護者にお任せの人の体は柔らかく、感謝の言葉も全く口に出ない人は拘縮もひどく、死に際も苦しむらしい。死を垣間見ると生が本当に「有難い」が、平生は性分が邪魔をする。

本年も宜しくお願い申し上げます。

▼一昨年に得度した山田さんの知人として紹介された安岡さんが、木村さんに続いて無事得度されました。妻を除けばいずれも一般の方三人目です。名古屋近郊から熱心に勉強に通われました。実は他宗でのキャリアもあり、次は教師取得という目的意識のはっきりした方です。少しずつ、現場へ同行する機会も作りますので、皆様よろしくお願い致します。

昨年十二月、声楽家で合唱指導者のH女史が、一年半ほど闘病の末往生されました。二十数年來の知人で同い年、パワフルかつ包容力のある指導で大勢の方から慕われました。私たちの結婚式には恩徳讃を歌っていた。私たちが結婚式には恩徳讃を歌っていた。寂しくとても残念です。通夜は動画も上映され、大勢の参列者も泣きながら歌いました。病院では決して辛いとは言わず常に感謝の言葉だったそうです。合掌。(S)

▼今、話題の映画「ボヘミアン・ラプソディー」を観にいきました。感動でハンカチがベタベタになりました。「私は私、そのまま、ありのまま生きればいいんだよ」私はそういうメッセージを受け取りましたが、見る人によって受け取るものは違うようです。イギリスのロックバンド「クイーン」のボーカル、フレディ・マーキュリーの自伝的映画ですが、とても奥深く迫力ある内容となっています。是非お勧め、映画館で観てください。(C)

■お知らせ：HP開設！PCに強い木村さんが当寺の見やすいホームページを作ってくれました。この通信のバックナンバーの一部と、僧侶紹介のページに木村さん安岡さんお二人のプロフィールも載っています。こじんまりとした寺ですが、今後ぼちぼちと情報発信していければと思います。「鯖江 報恩寺」で検索してください(1頁にもURL記載)。

今年度
行事予定

- ・お年頭：1月2日(水)終日
- ・永代経：3月21日(祝木) 昼3時
- ・七日盆：8月7日(水)終日
- ・本盆：8月15日(木)終日
- ・報恩講：9月23日(祝月) 昼3時、夜7時